

GRパイプ施工要領書

施工手順

1. 周辺状況の確認

GRパイプを施工する目地に2次シールとしてガスケット等が施工されているかどうかを確認する。

* 2次シールがなければ、屋外側にGRパイプを施工しても屋内への水の流入を防ぐことは出来ません

GRパイプを設置する位置に十分施工できる隙間の確保が出来ていることを確認する。

* S40、KS40等の場合は□13mm以上の目地空間が望ましい

2. バックアップ材によるGRパイプの固定

縦目地及び横目地のバックアップ材をGRパイプのすぐ近くまで挿入し、GRパイプを装着した後、バックアップ材で挟み込むように固定する。

* 土間面等の水路の最下部にGRパイプが接する様に取り付けること

* GRパイプに通じる水路が確保できていること

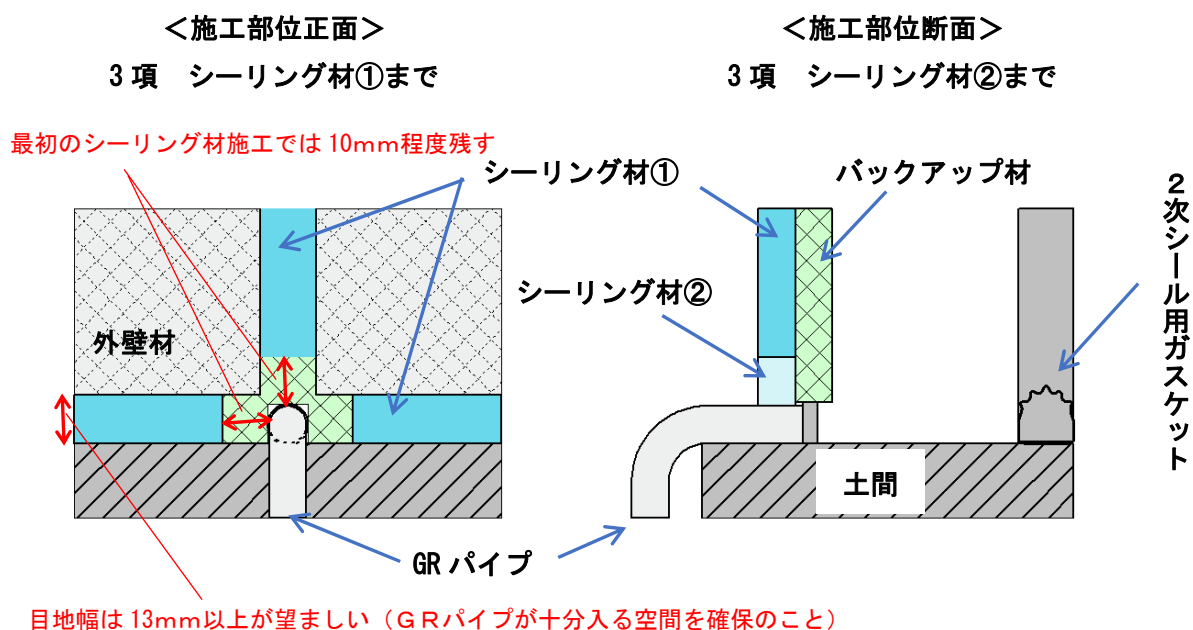
3. シーリング材の施工（参考）

シーリング材①：GRパイプより10mm程度離れた位置まで目地にシーリング材を施工する

シーリング材②：上記のシーリング材が硬化した後、GRパイプ廻りにシーリング材を施工する

* GRパイプ周辺はシーリング材のヘラ押さえが難しいための提案です

尚、シーリング材の施工手順については施工者との協議とし、上記3項はあくまで参考です。



以上